

令和7年度 第4回太良町教育環境整備検討委員会会議録（要点筆記）

日 時 令和7年10月22日（水）14:00～14:40

場 所 太良町中央公民館 2階視聴覚室

出席者 委員 17名

高松委員、赤木^{久美子}委員、鶴田委員、大岡委員、坂口委員、大鋸委員、合浦委員、
佐藤委員、巨瀬委員、松本委員、西田委員、田崎委員、川浪委員、熊本委員、
喜多委員、武富委員、森委員

事務局 6名

岡教育長、與猶学校教育課長、西田社会教育課長、福田学校教育係長、
岡指導主事、石丸係員

欠席者 委員 4名 永渕委員、古庄委員、陣内委員、赤木^{一成}委員

1. 開会 （学校教育課長）

2. 委員長挨拶

- ・太良町立小・中学校の教育環境整備に関する報告書（案）について、前回の指摘を受けて修正を行ったので、最終案として検討をお願いしたい。

3. 協議事項

太良町立小・中学校の教育環境の整備に関する報告書（案）について

（説明 学校教育課長）

今回提示した報告書を一部修正して町へ報告することを承認。

（質問・意見等）

合浦委員 : 6ページの5. 学校再編の方向性の中で、「部活動の選択肢を広げる」や「切磋琢磨」という文言が度々出てくるが、実際統合となれば、部活動が活発になるのか。全国的な流れとして、部活動は社会体育に移行していくのではないかと。それならば、「部活動の選択を広げる」や「切磋琢磨」などの表現には疑問がある。

→ 現在の状況として、太良町の場合は「部活動＋地域展開」を目指している。それは、平日は学校部活動で先生が指導を行い、土日は地域の社会体育の指導者が指導を行うという考え方になる。（学校教育課長）

→ 学校部活動というのは文部科学省の学習指導要領の中で、学習内容の一つとして示されている。全部を部活動から切り離すことは、今のところ難しいと思われる。今後、学習指導要領等が改正されれば、部活動を切り離し、地域に任せる事になる可能性があるが、現在はそのような状況ではない。（岡教育長）

- 坂口委員 : 地区中体連には、何種目あるか教えてほしい。
現在、多良中学校と大浦中学校が出場している種目はいくつあるか。
また、中学校が統合して出場できる種目が増えるのか教えてほしい。
- 現在、地区中体連の種目は13種目。現在出場できている種目数は、多良中学校は5種目で、大浦中学校は4種目である。多良中学校と大浦中学校が統合した中学校では5種目となる。(岡指導主事)
- 合浦委員 : 出場できる種目が増えない状況なら「種類が増加し」は削除してもいいのではないか。過剰な期待になるのではないか。
- ソフトテニス部で言うと、現在は多良中学校にはなく、大浦中学校にはあるので、もし、ソフトテニス部に入部したいという多良中学校の生徒がいれば、ソフトテニス部に入部できるという意味をこめている。
(学校教育課長)
- 高松委員 : 合同のチームとする部活動と、一つの学校としての部活動では、生徒の気持ち等も違うのではないかと思います。
- 田崎委員 : 今の大浦中学校の生徒に「どうしてバレー部に入部しなかったのか」と聞いたら、「多良中学校に行きたくないから」と答えた。
- 「統合することによって、入部しやすくなる」という文章を入れたら、もやもやがなくなる。多良中学校にあって大浦中学校にない部活、大浦中学校にあって、多良中学校にない部活もあるので、統合すれば選択肢は広がっていくという考え方になる。人数が少なく結成できなかった部活動も、もう一度復活する可能性がある。そのような事も含めて、選択肢を広げ、活性化していきたい思いをご理解いただきたい。
(岡教育長)

4. その他 なし。

5. 報告書の提出

高松委員長から岡教育長へ「太良町立小・中学校の教育環境の整備に関する報告書」の提出。

終了 14時40分